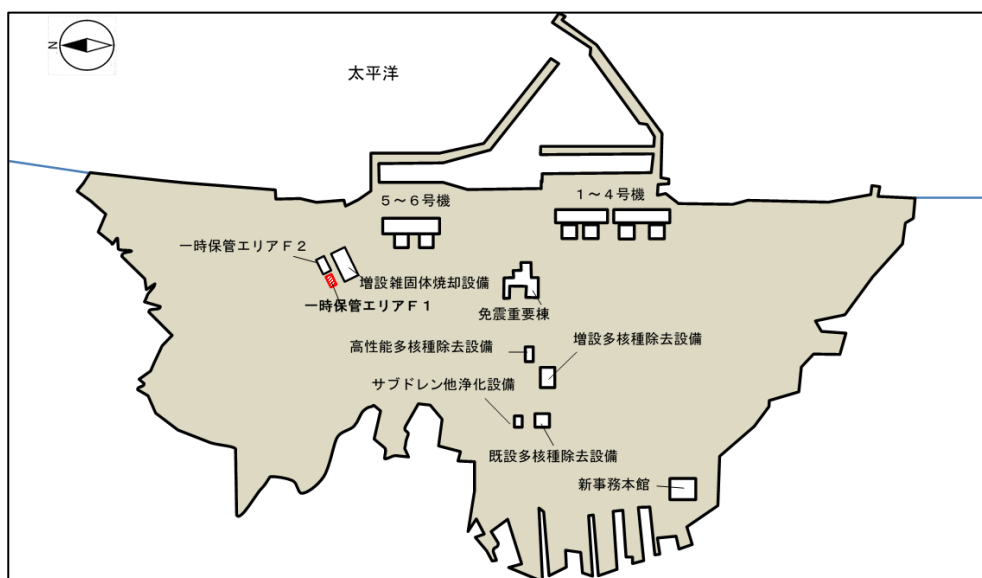


## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日  
令和5年1月12日（木）
- 2 確認箇所  
瓦礫類一時保管エリアF1
- 3 確認項目  
瓦礫類一時保管エリアF1の状況
- 4 確認結果の概要

前回（12月12日）に引き続き、これまで高線量の瓦礫類（受入目安表面線量率：10 mSv/h）を保管していた瓦礫類一時保管エリア（以下「一時保管エリア」という。）F1及び周囲の状況を確認した。（図1）（写真1）

- ・現地確認時、一時保管エリアF1では、1 m<sup>3</sup>コンテナの搬入作業が行われていた。（写真2）
- ・前回、地表面で高い線量率が確認された一時保管エリアF1内の西側の一部は、単管バリケードで区画され、「高線量注意」、「関係者以外立入禁止」の表示が掲示され、また、区画の中央部付近はシート養生されていたが、今回、それらは全て撤去され、敷鉄板が設置された後にコンテナが保管されていた。（写真3）



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)  
一時保管エリアF1の概観（東側から撮影）



(写真2-1)  
一時保管エリアF1でのコンテナ搬入作業に使用されていたフォークリフト



(写真2-2)  
一時保管エリアF1に搬入されていた1m<sup>3</sup>コンテナ



(写真3-1)  
高い線量率が確認されたエリアの区画状況（北東側から令和4年12月12日撮影）



(写真3-2)  
高い線量率が確認されたエリアの区画があった箇所の現在の状況（北東側から撮影）

## 5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。